

公 民 [倫 理] (100 点 50 分)

2020 年 12 月 8 日 (火) 1 限 実施
後期② 考査
千葉県立長生高等学校 第 3 学年 全組
Edited by K.Kataoka

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 解答用紙はマークシート式です。
- 3 受験番号はアルファベットを数字に直し、次の例のように 5 桁で記入してマークを忘れないこと。
例 3 年 D 組 1 番 → 30401
- 4 試験中に解答用紙の不足、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 試験終了後、問題冊子は持ち帰って復習をするとともに、答案返却の際に持参すること。

倫 理

(解答番号 [1] ~ [50])

第1問 次の文章を読み、下の問い(問1~問7)に答えよ。(配点 18)

紀元前11世紀ごろ、[1]という国の王が(a)天命を受けた天子として、黄河流域の諸国を統率することになった。しかし、[1]王は徐々に力を失い、春秋戦国時代になると、諸国は軍事抗争に明け暮れた。この時期にはさまざまな思想流派が、理想的な政治のあり方を説いて競いあった。諸子百家とよばれる思想家たちである。このうち儒家と道家は、漢の時代にそれぞれ儒教と道教へと発展していった。儒教と道教に加え、漢の時代にインドから伝わった[2]を含んだ三教は、現在にいたるまで中国の人々の生活や考え方の枠組みを提供している。

諸子百家というよび方は、春秋戦国時代にはまだない。諸子とは本来はもろもろの学士をさす。その本格的な学派分類は、司馬遷の父、談の六家((b)陰陽家、儒家、(c)墨家、(d)名家、(e)法家、道家)、および班固の十家(儒家、道家、陰陽家、法家、名家、墨家、縦横家、雑家、農家、小説家)に始まる。先秦時代の諸子に限っていえば、かかる後代の尺度による分類は、かならずしもその実態の把握に直結しない。なぜなら、いわゆる諸子百家のうち学派とよぶにふさわしい実質を備えていたのは、儒家と墨家の両派のみであったと推測されるからである。

問1 文章中の空欄[1]~[2]に入る最も適切な語を、次のそれぞれの①~④のうちから一つずつ選べ。

[1]

〔	1	〕	〔	① 周	② 秦
				③ 殷	④ 漢

[2]

〔	2	〕	〔	① 景教	② 拝火教
				③ 回教	④ 仏教

問2 下線部(a)に関連して、天についての次の記述中の空欄[3]に入る最も適切な語を、下の①~④のうちから一つ選べ。[3]

天は、中国思想を貫く重要な概念。天という文字はもと人間の頭部を示し、それが天空を意味するようになった。天は天上の最高神として崇敬され、上帝ともよばれて、地上の現象を支配すると考えられた。とくに、天が王朝に命を与えるとされ、王が天意の代行者とされたことは、封建制を宗教的に支える役割を果たした。君主を天子といい、天の祭りを天子の特権とするのはこのことによる。春秋時代ごろには、最高神としての天の信仰は動揺し始める。春秋・戦国時代の思想家たちの天に対する見方には、孔子・孟子のようにこれを宇宙の理法に近いものと解し、[3]の根源をそこに求める立場、莊子のように万物のなかに働く不可知な力とみる立場、墨家の一部の意志をもつ人格神とする立場。荀子の純粋な自然現象と考える立場などがある。

① 神 ② 道徳 ③ 万物 ④ 天気

問3 下線部(b)に関して、陰陽五行についての次の記述の空欄 [4] に入る人名として最も適当なものと、右の表の空欄 [5] に入る語を、下の①～④のうちから一つ選べ。

『史記』によれば、[4] が燕の国に行くと、昭王は箒を手にして道を清め、弟子の座につらなり、学業を受けたいと請い、[4] はそこで『主運篇』を作ったとある。主運説は土を「和平用均、中正無私」として、四時

丁酉	ひのととり	2017 (平成29)
戊戌	つちのえいぬ	2018 (平成30)
己亥	つちのとい	2019 (令和1)
庚子	かのえね	2020 (令和2)
[5]		2021 (令和3)

を実輔するものとし、木・火を陽、金・水を陰として、五徳を陰陽に結合することによって、陰陽主運説を成した。[4] は、最古の黄帝から当代に至るまでの興亡の歴史が土、木、金、火、水という五行相剋の原理によって展開したと考え、未来を予見しようとした。

[4] ① 鄒衍 ② 許行 ③ 商鞅 ④ 蘇秦

[5] ① 丙午 ② 丙丑 ③ 辛丑 ④ 辛午

問4 下線部(c)に関連して、次の『墨子』の原文の空欄 [6] に入る最も適当な語を、次の①～④のうちから一つ選べ。

一人を殺さばこれを不義と謂い、必ず一死罪あり。……いま大いに不義をなし国を [6] るに至りては、すなわち非とするを知らず、従いてこれを誉め、これを義と謂う。これ義と不義との別を知ると謂うべきか。

(人ひとりを殺せばその不義には、必ず死罪となる。今、他国を●●するという大きな不義については非難しようとしな。それどころかそれを誉め、これを義とみなす。本当に義と不義の区別をわきまえているのだろうか。)

① 立つ ② 守も ③ 攻む ④ 愛す

問5 下線部(d)に関して、名家に関する説明文中の空欄 [7] に入る語として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

[7] とは中国、戦国時代の論者公孫龍が唱えた認識論上の一命題。『公孫龍子』の白馬論にみえる。白馬という概念は、色彩感覚によってとらえられた「白」と視覚(形態感覚)によってとらえられた「馬」とに分析できるから、白馬(白+馬)は馬ではない、また馬という概念には黄馬も黒馬も含まれるが、白馬という概念には黄馬、黒馬は含まれない、ゆえに白馬は馬ではないという理論。戦国末期の知識人の間で盛んにもてはやされ、後世、先秦詭弁哲学の代表と目されるようになったが、この説自体は、概念の広狭異同の判別を試みたものであって、詭弁と速断することはできない。

① 白馬不馬 ② 白馬非馬 ③ 権謀術数 ④ 堅石白馬

問6 下線部(e)に関連して、法家の思想の説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[8] (2010年センター試験改題)

- ① 人は先王によって定められた礼を身に付ければ争いを未然に防ぐことができ、各自が社会規範を守れば社会秩序は維持される。
- ② 天命によって天子となった者も、ひとたびその徳を失えば新たな有徳の者にとって代わられるが、その革命には武力も認められる。
- ③ 高い徳を積んだ人格者が政治に当たれば、その徳はおのずから国民を感化して秩序が保たれ、国家は安寧に統治される。
- ④ 厳正な法に基づく信賞必罰によって利己的な本性を抑止すれば、国民は罰を恐れて悪事をなさず、安定した国家統治が実現できる。

問7 次の文章を読み、孝についての韓非子の見方の記述として最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。[9] (2002年センター追試)

魯の人が、君主に従って戦場におもむき、三度の合戦で三度とも逃亡した。孔子がそのわけをたずねた。すると、「わたしには年老いた父親がおります。わたしが死ねば、だれも養ってくれるものはございません」とこたえた。孔子は、孝行者だと思い、上位に取り立てた。こうしたことからみると、父親にとっての孝子というものは、君主には逆臣なのである。

(『韓非子』)

- ① 孝は国家秩序と衝突するものであるから、為政者が孝を尊重するのは国家の混乱を招くだけである。
- ② 孝は国家秩序と衝突しないので、為政者が社会の秩序を維持するためには、何ら孝をめぐる政策を立てる必要はない。
- ③ 孝は国家秩序の基盤となる徳であるから、為政者が人民に孝を奨励すれば、君主への忠も同時に促されることになる。
- ④ 孝は国家秩序を超越した徳であるから、為政者は国家の利益にとらわれずに、人民に孝を奨励するべきである。

第2問 次の文章を読み下の問い(問1～問6)に答えよ。(配点 16)

孔子は春秋時代の末期に魯の国に生まれた。孔子の母は葬礼や招魂儀礼に携わった「儒」とよばれる宗教者階層の一員だったとも言われる。彼は、礼にもとづく統治を完成させたといわれる聖人 [10] にあこがれて学問にはげみ、周の衰退とともに失われた礼の復興につとめた。

『論語』に説かれたさまざまな教えの中心にあるのは、仁ということばである。仁の基本はまごころつまり [11] と (a)思いやりであり、親子・兄弟をはじめとする、社会全般の人間関係について使われる。(b)自分の欲望をおさえて、社会生活を営むためのきまりや形にしたがうことができれば、その人は仁をそなえた者である。仁を実践する人が君子であり、君子のなかでも最高の人格者が聖人であった。逆に、仁をとまわらない礼は、うわべだけのせものにすぎない。うわべだけで誠意のない人は [12] とよばれた。

孔子の弟子には、生まれた身分は高くないが、自分の才能をいかして活躍しようとする者たちが多かった。彼らは孔子のもとで礼を学習しながら人格をみがき、各地の君主に仕えて官僚となっていた。

問1 文章中の空欄 [10] ～ [12] に入る最も適切な語を、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

- | | | | |
|--------|---|-------|-------|
| [10] | [| ① 堯 | ② 舜 |
| | | ③ 周公旦 | ④ 禹 |
| [11] | [| ① 恕 | ② 忠 |
| | | ③ 信 | ④ 悌 |
| [12] | [| ① 至人 | ② 小人 |
| | | ③ 卑人 | ④ 大丈夫 |

問2 下線部(a)に関連して、論語の中で孔子が語ったまごころの説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[13]

- ① 己の欲せざる所は人に施すこと勿れ
- ② 巧言令色，鮮なし仁
- ③ 朝に道を聞かば，夕べに死すとも可なり
- ④ これを知る者は、これを好む者にしかず

問3 下線部(b)について、これを意味する論語の言葉として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[14]

- ① 温故知新
- ② 克己復礼
- ③ 過猶不及
- ④ 博文約礼

問4 儒家の家族観についての記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

[15] (2017年センター試験)

- ① 孔子は、祖先に対する祭祀儀礼を批判し、生存している自分の父母や家族を最優先に考えるべきだと説いた。
- ② 『論語』では、父母に対する孝や兄に対する悌といった徳目が重視され、それらが仁の根幹であると説かれている。
- ③ 孟子は、基本的な人間関係を五倫としてまとめ、「父子」の間には「親」という関係が成立すると説いた。
- ④ 朱子学では、個人の修養や国家の安定などとともに、家族・親族の人間関係をうまく取り仕切る「齐家」の実践が要請された。

問5 次の論語の言葉の解釈として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。[16]

子曰く、徳孤ならず。必ず隣有り。(里仁第四)

- ① 徳のある人は狡賢くないから、必ず隣近所の人々の力を借りるものである。
- ② 徳のある人は狡賢くないから、必ず賛同するものが現れるものである。
- ③ 徳のある人は孤立せず、必ず隣近所の人々の力を借りるものである。
- ④ 徳のある人は孤立せず、必ず賛同するものが現れるものである。

問6 儒家に関する説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[17]

(2006年センター追再試験)

- ① 民を苦しめる礼楽を否定し、犠牲的な奉仕の精神で儉約に努め、万人が等しく愛し合い、戦いを行わない世界を築くべきであると主張した。
- ② 家族に対する親愛の情こそが社会関係の基本であり、社会関係の様々な局面にそれを広めていくことが、人として生きる道であると主張した。
- ③ 学問修養によって聖人君子となるべきだと主張し、そのよりどころとして、孔子の著書を集成した「四書五経」を根本経典とみなして重視した。
- ④ 人間の本性を道徳によって変えることは、根本的に不可能であると主張し、法律や刑罰によって民を厳しく取り縮まることを重視した。

第3問 次の文章を読み、下の問い（問1～問4）に答えよ。（配点 14）

孔子の死後、その継承者たちの中で考え方に対立が生じ、儒家の教えはいくつかに分裂した。このうち、人間の内面性に信頼をよせ、[18]を重視したのが孟子である。

義とは善行を志す徳のことで、孟子は各国の君主に向かって、政治の根本に[18]をすえるように説いてまわった(徳治主義)。[18]による政治は(a)王道とよばれ、武力にたよる霸道と対立するものであった。孟子は、霸道にたよって、(b)民衆の苦しみをかえりみない暴君は追放されて当然だと述べた。しかし現実には、君主たちが求めていたのは霸道政治であり、孟子も登用されることなく死んだ。

孟子は、人間は生まれつき善であり、徳のめばえがもともとそなわっているとした(性善説)。たとえば、井戸に落ちそうな幼児を見ると、だれでも思わずその子を助けたいとする[19]の心を起こす。これは仁の徳のめばえである。また、人に知られなくても、自分の不善を恥じる心があるが、これは[20]の徳のめばえである。

荀子によると、人間はもともと欲望にしたがって、利己的にふるまう傾向があり、そのままでは世のなかの争いごとが絶えることはない。そこで、秩序ある社会生活を維持していくために、君主としての聖人が、[21]を定めて人々を教え導いた。性が善になるのは、教育の結果、矯正されるからだというのである。

荀子は、孟子のように社会秩序が人間の本性にもとづくのみならず、自然状態から発展して文明化した結果だと考えていた。したがって、社会の構成員は、欲望の達成をがまんして、たがいに尊重しあって暮らす必要があり、そのルールが[21]であった。

問1 文章中の空欄[18]～[21]に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

- [18]

① 孝悌	② 仁義
③ 忠信	④ 礼智

- [19]

① 羞惡	② 辞讓
③ 惻隱	④ 是非

- [20]

① 智	② 義
③ 礼	④ 仁

- [21]

① 令	② 法
③ 礼	④ 律

問2 下線部(a)に関して、王道政治についての説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[22] (2012年センター追再試験)

- ① 神秘的な事柄への関心を捨て、古来の儀礼を排することで、天と人を分離し、天の意志に左右されない人間中心の政治
- ② 武力による支配ではなく、人民の幸福を真に考え、まず生活の安定をはかり、そのうえで道徳的教化を目指す政治
- ③ 国家の規範として法律を定め、各身分の役割を明確にすると同時に、為政者による臣下の統制を国家の原則とする政治
- ④ 民衆からの過重な徴税を批判し、君臣の身分の区別なく、すべての人が農業に従事する平等な社会を目指す政治

問3 下線部(b)に関して、次の文の作者として最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。[23]

また『周のはじめ、武王、殷の紂王の暴虐を憤ってこれを討ち、ために天下の民を安らかにした。これは臣の身として君を弑したというべきではない。仁にもとり義にもとった一人の不徳者紂をころしたのである』ということが、『孟子』という書物に記されていると人づてに聞いております。だから、中国の書籍は、経典・史策・詩文にいたるまで、神意にかなって、わが国に渡来しないものはありませんが、『孟子』という書物だけはまだ日本に伝わっておりません。この書物を積んでくる船は、途中でかならず暴風に遭って沈没するからだといわれております。それはどういうわけかというと、わが国は天照大神が国の基をひらいてお治めになってから、皇孫の天子がたえることなく代々御位についておりますのに、もしこんな口先でいいくるめるような、ごさかしい教えを伝えることになると、後世には帝位を奪っても罪と思わないという賊子も出ることであろうと、八百よろずの神々がこの書物をお憎みになって、神風をおこして船を転覆させるのだということでございます。だから中国の聖賢の教えも、わが国の国風にてらしてふさわしくないものがすくなくありません。

- ① 賀茂真淵 ② 滝沢馬琴 ③ 本居宣長 ④ 上田秋成

問4 儒学の説く「五倫」の内容として最も適切なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。[24] 2005年センター試験

- ① 父子の孝、君臣の義、夫婦の別、長幼の悌、朋友の信
- ② 父子の孝、君臣の忠、夫婦の礼、長幼の悌、朋友の敬
- ③ 父子の親、君臣の義、夫婦の別、長幼の序、朋友の信
- ④ 父子の親、君臣の忠、夫婦の愛、長幼の序、朋友の敬
- ⑤ 父子の仁、君臣の義、夫婦の礼、長幼の智、朋友の信
- ⑥ 父子の仁、君臣の忠、夫婦の愛、長幼の智、朋友の敬

第4問 次の文章を読み、下の問い（問1～問3）に答えよ。（配点 12）

朱子学を大成した(a)朱子(朱熹)は、孟子の性善説を継承して、[25]説を説いた。朱子によれば、性とは宇宙の原理としての理のことであり、心の奥底には純粹で絶対的な本性である理がある。ところが、人間にはこれ以外に、個々のものを構成する気的作用によって不純物がまじり、その結果として、みにくい私欲がそなわってしまっている。朱子が重視する『[26]』で述べられている格物致知とは、この理と気との関係をわきまえ、個々人が[27]窮理によって克己復礼をおこない、私欲にとらわれずに公明正大に行動する聖人になるための方法であると、朱子は解釈し主張した。

陽明学の創始者である王陽明(王守仁)は、善か悪かと議論すること自体、性が絶対的に善であるという根本の道理を、かえって限定してしまうと考え、情や欲を含む心のありようそれ自体が、宇宙の理のあらわれであるとした。人はみな聖人として生まれついている。大事なものは、たんなる知識ではなく、実践である。生まれつき個々人の心にそなわった[28](善悪を判断する能力)にしたがうならば、その人の行為は理にかなったものになるはずで、朱子学のように、学問によって人間を矯正しようとする方法は誤っていると説いた。

問1 文章中の空欄 [25] ～ [28] に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

[25] ① 性即理 ② 致良知 ③ 心即理 ④ 知行合一

[26] ① 論語 ② 孟子 ③ 大学 ④ 中庸

[27] ① 愛敬 ② 居敬 ③ 存心 ④ 義外

[28] ① 本然の性 ② 惻隱 ③ 四端 ④ 良知

問2 下線部(a)に関して、朱子の著作として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[29]

① 伝習録 ② 翁問答 ③ 四書集注 ④ 集義和書

問3 朱熹(朱子)の理と気についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[30] (2019年センター本試験)

- ① 心のなかにのみ存在する理を規範とし、非物質的な気を媒介として、物質としての万物が形成される。
- ② 万物に内在する理を規範とし、物質的な気が運動することによって、万物が形成される。
- ③ 心のなかにのみ存在する理を規範とし、物質的な気が運動することによって、万物が形成される。
- ④ 万物に内在する理を規範とし、非物質的な気を媒介として、物質としての万物が形成される。

問3 老子が理想とする君主の姿として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

[35]

- ① 民が賞賛して親しむ君主
- ② 民が存在だけしか知らない君主
- ③ 民に侮られる君主
- ④ 民に恐れられる君主

問4 次の『莊子』の引用文中の空欄 [36] に入る語として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

ある時、顔回が孔子に「私にも一つの進境がありました」と言った。孔子が「それは何かね」とたずねると、「私は礼楽を忘れることができるようになりました」と告げた。孔子は「わるくはないが、まだたいしたことはないね」と言った。

その後、顔回はまた孔子に会い「私にはまた進境がありました [36] ができるようになったのです」と言った。これを聞いた孔子は思わず顔色を引き締め、「[36] というのは、どういうことかね」とたずねた。

「自分の身体や手足を忘れ去り、目や耳の働きをなくし、形のある肉体を離れ、心の知を捨て去り、あらゆる差別を超えた大道に同化すること、これが [36] です」

これを聞いて孔子は言った。「道と一体になればもはや好悪の差別の心はなくなるし、変化のままに従うならば、特定のものだけを追い求める心もなくなる。お前はやはりたいした人間であった。私も、お前の教えを乞わねばなるまい」

- ① 瞑想
- ② 解脱
- ③ 大悟
- ④ 坐忘

問題は次のページに続きます

第6問 次の文章を読み、下の問い（問1～問4）に答えよ。（配点 12）

ムハンマドは40歳ごろ、メッカ郊外のヒラー山の洞窟にこもっていたとき、「起きて、警告せよ」という天使の声を聞き、自分は神の使徒であると自覚するにいたった。やがてメッカの人々に神の教えを伝えるようになったが、祖先伝来の部族の宗教である多神教とその偶像崇拝に反対したため、支配者層の大商人たちから迫害を受け、622年、彼を預言者と認める人たちの多い〔37〕に難をのがれて移住した。しかし、やがてそこを根拠地に、軍事のおよび外交的成功を通じて政治的権力と宗教的権威を確立し、メッカを奪い返して、イスラームの聖地とした。その後、まもなく病死した。

神アッラーは、この宇宙の創造者であり、また最後の裁きの日の審判をつかさどる、全知全能、唯一絶対の神であるとされる。この神は一切を超越した神であるから、いかなる偶像によってもあらわすことは許されず、偶像崇拝はきびしく禁じられる。イスラームとは、この神に絶対的に〔38〕するという意味である。

イスラームの特徴は、特に宗教的な務めを強調していることである。「アッラーのほかには神なし。ムハンマドはアッラーの使徒である」という〔39〕、日に5回の礼拝など五行とよばれ、信者として欠くことのできない務めとされている。また、キリスト教のように聖と俗との区別を立てず、政治や経済をはじめ人間生活のあらゆる面にわたって宗教が中心的役割をはたしているのも、イスラームの大きな特徴である。

問1 文章中の空欄〔37〕～〔39〕に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

〔37〕

①	メディナ	②	ダマスカス
③	エルサレム	④	リヤド

〔38〕

①	服従	②	信仰
③	崇拝	④	寄進

〔39〕

①	集会祈願	②	奉献文
③	信仰告白	④	詠唱

問2 イスラーム教の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。〔40〕
(2019年センター本試験)

- ① クルアーン(コーラン)は、ムハンマドと彼を取り巻く人々に下された神の啓示を、集録し、編纂したものとされる。
- ② イエスを救世主とみなすキリスト教の教えを継承し、ムハンマドを救世主として信じることは、六信の一つに数えられる。
- ③ 五行などの実践によって神への信仰を体現することだけでなく、天使の存在を信じることも信徒の義務であるとされる。
- ④ イスラーム教は、中東、東南アジアなどを中心に世界各地で信仰されており、少数派のスナナ派と多数派のシーア派に大別される。

問3 イスラーム教についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[41] (2018年センター本試験)

- ① クルアーンは、ユダヤ教の聖典に倣ってヘブライ語で著わされた。
- ② すべてのモスクでは、聖地エルサレムに向かって礼拝が行われる。
- ③ イスラーム教は、五行の一つとして喜捨(ザカート)の義務を定めている。
- ④ キリスト教徒らと区別して、イスラーム教徒は「啓典の民」と自称する。

問4 イスラーム教の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。[42] (2018年センター追再試験)

- ① アラビア半島ではもともと一神教の伝統が続いていたため、人々はムハンマドの教えを抵抗なく受け入れた。
- ② イスラーム共同体であるウンマにおいて、ムハンマドは宗教上の指導者であったが、政治上の指導者ではなかった。
- ③ ジハードはしばしば「聖戦」と訳されるが、もともと「(神の道において)奮闘努力すること」を意味する。
- ④ ムハンマドの死後、カリフ位の継承をめぐる争いは起きなかったため、現代に至るまで分派は生まれていない。

問題は次のページに続きます

第7問 次の文章を読み、下の問い（問1～問3）に答えよ。（配点 16）

近代における人間尊重への口火を切ったのは、14世紀から16世紀に北イタリアを中心としてヨーロッパ各地に広がったルネサンスである。当時北イタリアには、十字軍以来の [43] によって富を蓄積し、実力をたくわえた都市が発達していた。自由で活気に満ちた経済活動が、教会や封建制にしばられない新しい文化を求める気運をもたらしたのである。ルネサンスとは [44] という意味であり、具体的にはギリシャ・ローマ文化の復興を意味しているが、そのねらいとするところは、ギリシャ・ローマ文化の復興を通じて、中世の教会中心的なあり方から自由な、人間中心のあり方を追求することにあつた。この運動は一般に、(a) 人文主義（ヒューマニズム） とよばれている。

この新しい人間観をよくあらわしているのが、プラトン研究者でもあつたピコ・デラ・ミランドラの考えである。彼はその著『人間の尊厳について』の中で、存在の仕方が決定されている動物や植物と異なり、自分で自分のあり方を決定する [45] をもっているところに、人間の尊厳がある、そして、人間は世界の中心にあつて、ありとあらゆるものを認識し、おのれの欲するままに自己自身を形成していく存在なのである、とのべている。

ルネサンス期の人々は、中世とは反対に、この地上の生活に積極的意義を見出し、そこで能動的に活動する人間のうちに価値を求めた。それゆえ、彼らが理想とした人間は、丈夫な身体と強い意志、広い知識と冷静な理性などを一身に兼ね備え、自分のもっている能力を全面的に発揮することのできる [46] であつた。

この時期にはさまざまな領域にわたってすぐれた人文主義者が輩出した。宗教的領域で大きな影響力をもつたのはエラスムスである。彼は、古典と聖書の文献学的研究を通じて、教会の解釈によってゆがめられていない福音書の復興を目指すとともに、『[47]』を著して教会の形式化、僧侶の腐敗を鋭く風刺した。エラスムスと交流のあつた [48] は『ユートピア』を著し、現実の社会のあり方を批判し、私有財産制のない理想郷をえがいた。また、(b) マキアヴェリは『君主論』を著した。

問1 文章中の空欄 [43] ～ [48] に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

[43] ① 勘合貿易 ② 東西貿易 ③ 東方貿易 ④ 隊商貿易

[44] ① 再会 ② 再生 ③ 新生 ④ 復活

[45] ① 生得観念 ② 自律性 ③ 自由意志 ④ 恩寵

[46] ① 遊戯人 ② 工作人 ③ 経済人 ④ 万能人

[47] ① 奴隸意志論 ② 抒情詩集 ③ デカメロン ④ 痴愚神礼讃

[48] ① オーウェル ② エンゲルス ③ トマス・モア ④ ヘンリー8世

問2 下線部(a)に関して、ルネサンス期の文学・芸術についての説明として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。[49] (2016年センター本試験)

- ① ボッカチオは、快樂を求める人々の姿を描いた『カンツォニエーレ』を著し、人間解放の精神を表現した。
- ② レオナルド・ダ・ヴィンチは、解剖学などを踏まえた絵画制作を通じ、人間や世界の新たな表現法を提示した。
- ③ アルベルティは、建築を始め様々な分野で活躍し、自らの意欲次第で何事をも成し遂げる人間像を示した。
- ④ ダンテは、罪に苦悩する人間の魂の浄化を描いた『神曲』を著し、人文主義的な機運の先駆けをなした。

問3 下線部(b)に関して、マキャヴェリの思想の説明として最も**適当なもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。[50] (2019年センター本試験)

- ① 国家は、統治者、防衛者、生産者の三つの階級がそれぞれの能力を発揮し、統治者のもとで全体としての秩序と調和が保たれることで成り立つ。
- ② 政治は、人間の現実のありようを踏まえた統治の技術であり、君主は、強さと賢さをもって国家統治を果たすべきである。
- ③ 王権は、神から授けられた絶対的なものとして正当化されるため、人民は君主に服従すべきであり、逆らうことは許されない。
- ④ 人々は、権利を自由に行使することから生じる戦争状態を脱するため、自らの権利を放棄し、強大な統治者へ譲渡しなければならない。

これで問題は終わりです